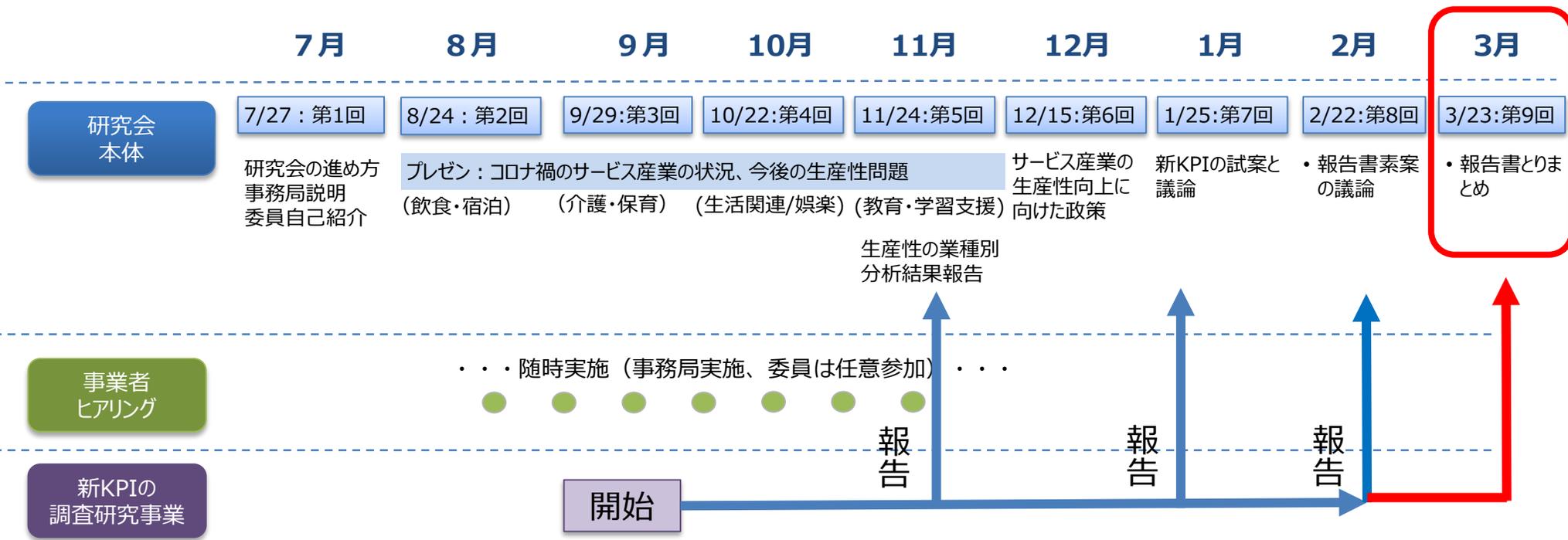


第9回サービス産業×生産性研究会
事務局説明資料

2021年3月23日
経済産業省
サービス政策課

スケジュールについて

- 研究会の前半（～11月）では、現行KPI設定後の5年間とコロナ禍での事業環境変化・業況・生産性の阻害要因を網羅的に把握すべく、業種別にゲストスピーカーからのプレゼンをいただいた。
- 並行して、
 - ①事務局（委員は任意参加）が事業者ヒアリングを多数実施し、その結果を研究会に報告。
 - ②11月（第5回）からは、事業者ヒアリングとともに、統計データを用いた業種別分析の議論を開始。
 - ③第9回（今回）は、これまでの議論を踏まえ、研究会報告書について議論。



報告書案について

- 研究会の報告書案の目次は以下のとおり。報告書案は資料5のとおり。

第1章 はじめに

第2章 近年のサービス産業の労働生産性

1. サービス産業全体の概況（2013年～）

- （1）2016年政府成長戦略目標の達成状況
- （2）近年のサービス産業政策の振り返り

2. 要因分析

- （1）事業者ヒアリング結果（定性分析）
- （2）定量分析
- （3）ヒアリング結果と定量的な分析からの考察

第3章 労働生産性の向上に向けた施策の方向性

1. アセット稼働率の向上

- （1）HRテックの活用などによる人的資源の有効活用
- （2）兼業・副業（複業）の推進に向けた環境整備
- （3）アセットの有効活用を阻む規制の見直し

2. 業務効率化への取組み

- （1）地域一体となったDXの促進
- （2）雇用シェアや共同購入

3. 付加価値向上の取組（低価格競争からの脱却）

4. 金融機関を通じた意識改革

第4章 今後のKPIについて

第5章 おわりに